

平成 20 年度 事業計画

1) 方針

平成 14 年の N P O 法人への移行を契機に、次第に倶楽部の主体が企業から個人へと傾斜を深めてきたが、設立 9 年目を節目として、市民及び N P O、企業、行政、大学などとゆるやかに連携した、自立した個人のインテリジェントなネットワーク集団をめざす。

今年度の活動テーマは < 失われしものの回復 > とするが、これに関して会員相互の濃密な議論を期待したい。

重点活動としては、助成金などを財源的に活用した 6 つの研究会等の開催やイベント等の実施により、多方面の調査及び提言、相談支援、情報発信活動を展開する。また、懸案となっている情報発信と広報活動に向けて、ホームページの開設や活動記録等の出版を実施する。

2) 活動計画

循環型社会づくりのための調査・研究

- ア. 研究会活動 (流域循環の炭づくり、森林 C S R 制度設計、地域の森づくり、森のヘルスツーリズム、森のまちづくり、地域材活用型エコハウス (仮称) など)
- イ. 事例調査

循環型社会づくりへの普及活動

- ア. ひょうご森の祭典、農林漁業祭、木材フェア等での循環型社会取組技術のパネル、デモ模型等の実演展示による普及推進
- イ. 地域での「取組み、事業化を加速する講演」等の開催
- ウ. イベントなどにおけるプレゼンテーション
- エ. 事例見学会の開催
- オ. テーマ技術及び政策情報等に関する情報提供

循環型社会づくりに関する情報の収集及び発信

- ア. ホームページ等による情報発信・伝達ツールの整備
- イ. 活動記録を本にして出版
- ウ. 訪問活動用共通資料 (パンフレット等) の作成
- エ. 市民及び N P O、企業、行政、大学等とのネットワーク会議等の開催

・循環型社会づくりのための取組に対する技術的相談、提案

- ア. 宍粟市森のゼロエミッション施策への取組支援
- イ. 企業、団体、自治体等への具体的な取組支援、コラボレーション

・循環型社会づくりのための調査業務等の受託

- ア. プロジェクト課題に応じた取組みの提案・支援業務等の受託
- イ. 循環型社会づくりのための調査業務等の受託

・その他

- ア. 通常総会等の開催
- イ. 理事会の開催
- ウ. 企業、団体、個人等の会員拡大、運営体制と財政の改善